

【気になる話題 ～麻疹発生動向について～】

麻疹は、症状が比較的強く（致死率 0.1%程度）、インフルエンザよりもはるかに感染力が強いウイルス性疾患です。国は、平成 24（2012）年までに麻疹排除を達成し、その後も維持することを目標としています。そのため、2006 年度からは麻疹ワクチンの 2 回定期接種法（1 歳および小学校入学前）を導入し、さらに 2008 年度から 5 年の時限措置として抗体価獲得が不十分とされる中学 1 年生および高校 3 年生相当者を対象とした定期接種を実施しています。



全国の届出件数は、2008 年に 11,012 例、2009 年に 732 例、2010 年に 455 例と減少傾向にありました。ところが、2011 年第 1～20 週（5 月 25 日現在）の累積報告数はすでに 264 例と再び増加しています。発生地は、東京都と神奈川県が約半数を占めており、その原因ウイルスは、主にヨーロッパで流行している D4 型、東南アジアで流行している D9 型などの海外由来の遺伝子型でした（図）。

麻疹はワクチンによる予防が効果的です。予防接種を受けていない、よく分からないという方は、保健所等へ相談しましょう。

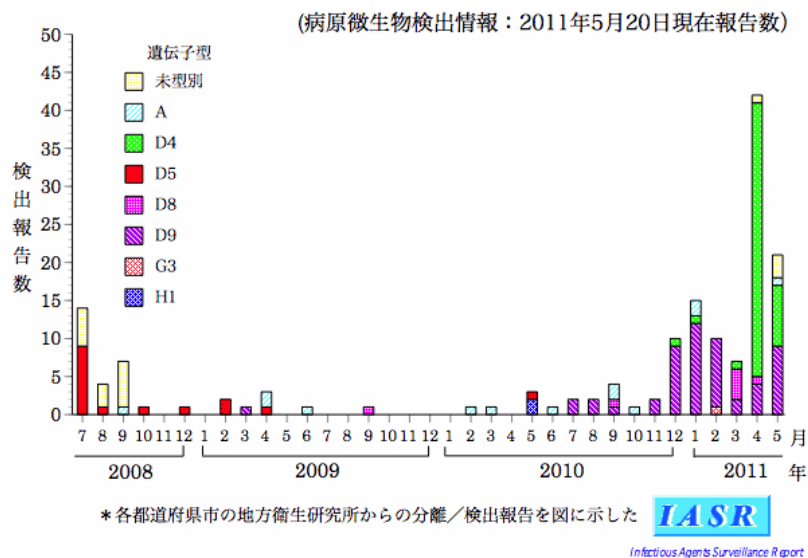


図. 月別麻疹ウイルス分離・検出報告数（2008年7月～2011年5月）

[参考]

国立感染症研究所感染症情報センター

・疾患別情報 麻疹

http://idsc.nih.gov/jp/disease/measles/guideline/hospital_ver2.pdf

奈良県感染症発生動向調査還元情報（週報）2011年第5週

・保健環境研究センター2月日より～麻疹ワクチンを2回受けましたか？～

（感染症情報センター 記）